

平成 27 年 第 1 回臨時会

岩見沢市教育委員会会議録

平成 27 年 3 月 10 日 開会

平成 27 年 3 月 10 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成27年 第1回臨時会
岩見沢市教育委員会会議録
(平成27年3月10日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第3号 岩見沢市社会教育委員の会議の答申について
 - 2 議案第15号 岩見沢市立学校長人事について
 - 3 議案第16号 岩見沢市立学校教頭人事について
 - 4 議案第17号 岩見沢市立学校一般教職員人事について
- そ の 他

○本委員会に出席した者

委 員 長	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	大 橋 弘 道
委 員	佐々木 和 子
教 育 長	舛 甚 和 俊

教 育 部 長	名 和 田 勉
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	相 河 学
緑陵高等学校事務長	佐 藤 昌 明
事務局学校教育課総務係長	武 田 弘 毅
事務局学校教育課総務係	虎 谷 淳

午後4時30分 開会

○武蔵委員長 それでは、ただ今から平成27年第1回教育委員会臨時会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、大橋委員さん、お願いします。

初めに、日程番号1、報告第3号 岩見沢市社会教育委員の会議の答申について 説明をお願いします。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 それでは、報告第3号、岩見沢市社会教育委員の会議の答申についてご説明申しあげます。

昨年の5月30日に、岩見沢市社会教育委員の会議に対しまして、岩見沢市社会教育中期計画の策定について諮問をしたところでございますが、本年2月27日に、その答申を受けましたので、ご報告申し上げます。

答申書及び計画案につきましては、2枚目以降に資料を添付しておりますが、計画案の概要を説明いたします。

計画は大きく、序論、総論、各論の3章立てとなっております。序論では計画策定の趣旨及び計画の構成と期間、総論では基本目標、計画の体系及び体系図、各論では推進区分別の基本方針ごとに、現状と課題、施策の方向及び具体的な施策をあげている作りとなっております。

岩見沢市が目指します社会教育の姿として、「生き生きと学び 創造性に富んだ豊かな人間性を育み 潤いのある地域づくりを目指す 社会教育の推進」を基本目標に掲げ、学習活動、芸術・文化活動、スポーツ活動、図書活動、社会教育環境づくりの5つの推進区分別に、10の基本方針と、23の施策の方向、57の具体的な施策を示す計画案でございます。

詳細な内容につきましては、これらをご覧いただくことで説明を省略させていただきますが、本答申によります計画案を基本といたしまして、その内容を精査し、次回の教育委員会において、計画案を議案として提案させていただく予定でございます。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○武蔵委員長 はい、ただ今、報告第3号についての説明がございました。

この計画案については、事前に委員さんそれぞれの手元にいつているかと思えます。

これを基に、委員会としての計画をこれから策定して、教育委員会に提案するということですが、ご意見ございますか。

○大橋委員 社会教育という非常に幅が広い分野でございますが、その全てに渡って細やかに計画案を立てられたということで、感心しながら、敬意をもって読んだところです。

これに基づいて、本市の社会教育の計画が具体的に立てられることを期待しております。それで、文言の確認で恐縮なのですが、よろしいでしょうか。

序論の策定の趣旨のところ、中ほどに、「このような中」というアンケート調査の表記がございました。アンケート調査で実際に使われたからそうなのかなとは思ったのですが、

ここでは「芸能・文化」と標記されている一方、後半では「芸術・文化」と違う表現になっております。これは、アンケートにおいてこのような表現を使っていたためであるのか、再度確認させていただきます。

以上です。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 実際のアンケート調査の中で、芸術ではなくて、「芸能・文化ということに関心ありますか」という項目を設けておりましたので、この記載も「芸能・文化」ということになっております。

○大橋委員 はい、分かりました。

○武蔵委員長 そのほかいかがでしょうか。

○佐々木委員 現状と課題というところでは、現状を非常に的確に捉えて、詳しく分かりやすく表現されていると思いました。また課題についても、例えば青少年教育のところではSNSの問題等を取り上げるなど、テレビ等でも問題になっているようなことへの取組について、とても分かりやすくまとめているように思いました。

それから、16ページ(1)のイ、スポーツのところ、「市民の健康と生きがいをづくりを推進するため、幅広い世代が親しみ交流でき、また、親子で参加できるスポーツ機会を充実します」とあります。今、働き盛りの年代ではスポーツを改めてやるというと、なかなか忙しくてできないという方が多い中で、親子を対象とするのであれば非常に参加しやすいのかなと感じました。親子が触れ合う時間も増えますし、子どもたちも喜ぶと思います。親も運動不足を解消できるだろうという点で、この機会を充実させることはとてもいいことだと感じました。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございました。

私もこれはいいことだと思いますが、子どもの年齢層はどれくらいを想定しているのでしょうか。幼稚園児もしくは小学校低学年くらいまででしょうか。それを過ぎると、きっと子どもたちは部活動で忙しくなってくるかもしれません。

○秋山委員 これだけ細かく計画で具体策が示されていますから、一つ一つ精査をして取り組んでいただければと思います。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

本当に社会教育は幅広いので、ご苦労されたのではないかなと思います。

ただ、私の個人的な感想ですが、総論のところの計画の基本目標ということで、「生き生きと学び 創造性に富んだ豊かな人間性を育み 潤いのある地域づくりを目指す 社会教育の推進」とあります。教育行政として社会教育に取り組まなければならないということ踏まえれば、こういうことになるかとは思いますが、岩見沢市の教育委員会としては、「子どもが輝く岩見沢の教育倫理」が最終的に目指す部分だと思いますから、生き生きと活躍する人がその辺に沢山いる岩見沢を目指し、子どもたちの可能性を広げる環境づくりのために、生涯学習を通して頑張っている人たちが、子どもたちに刺激を与えていけるような環境づくりをしていくのも、仕事のひとつではないかと感じているところです。

もしも、取り入れてもらえるなら、子どもたちの目線による表現も加えていただきたいなと思います。

それから、内容を見ていくと、情報発信、ネットワークづくり、人材活用、指導者育成、発表の機会、教育大との連携ということが大体の項目で出てくるのですが、やはり市民のニーズに合った企画をどれだけしていくのかというのが重要だと思います。

私の言ったことについていかがでしょうか。

教育振興表彰式においても、受章された方をお願いしているのですが、行政サービスとして生涯学習等のお手伝いをすることだけではなくて、後継者の育成など、その人たちから地域に対して何か返していただくという部分が大事だと思っていますので、そういうふうに人と人が繋がっていくような社会教育であってほしいです。

以上は、私の意見です。これで終わらせていただきます。

それでは、報告第3号につきましては以上で終了させていただきます。

続きまして、議案に対する提案理由について説明をお願いします。

○名和田教育部長 それでは、議案第15号から17号まで一括してご説明いたします。

議案第15号 岩見沢市立学校長人事について。

平成27年度岩見沢市立学校長人事について、北海道教育委員会に内申することについて同意を求めようとするものであります。

議案第16号 岩見沢市立学校教頭人事について。

平成27年度岩見沢市立教頭人事について、北海道教育委員会に内申することについて同意を求めようとするものであります。

議案第17号 岩見沢市立学校一般教職員人事について。

平成27年度岩見沢市立学校一般教職員人事について、北海道教育委員会に内申することについて同意を求めようとするものであります。

なお、議案第15号、16号、17号については人事案件につき、秘密会にてお願い申し上げます。

○武蔵委員長 はい、ただ今部長のほうから、本日の議案につきまして提案理由の説明がありました。人事案件のため秘密会という形で会議を進行してほしいということでございます。

そのように進めてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、議案第15号、16号、17号につきましては、秘密会として取り扱うこととして、後ほど説明していただくことといたします。

続きまして、その他に移ります。

委員の皆様から何かお持ちの方いらっしゃいますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 ないようですので、事務局の方で何かお持ちでしょうか。

特になければ、ここで一旦休憩とさせていただきます。

(以下 秘密会)

午後 5 時 0 3 分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第 1 5 条の規定により、ここに署名する。

署名委員